

塾の選び方 個別指導型と一斉授業型

個別指導型とは → 学年混在型

業界では、個別指導型とはマンツーマンでしっかり教えるという意味ではありません。主に小・中・高生を1つの空間で一緒に学習指導する型です。授業を提供しないからこれが可能で、プロの職人講師はいません。人柄の良さそうな講師と学生や副業アルバイトで運営(求人はアルバイト中心)されます。塾からの教材の用意もなく、生徒からの質問待ち状態の自習のような塾も存在します。プロの講師を雇わず1つの部屋での運営が可能なので、儲け主義の学習塾で運営される型です。多くの場合、生徒や講師の向上心は低く、飛躍的に成績が上がる話は誰も知りません。さらに費用が高め。極端に学力や向上心が欠け、一斉授業についていけない生徒の学力の底上げや集団行動になじまない生徒には効果があるようです。

一斉指導型とは → 学年別クラス編成型

通常、この型を進学塾といいます。学習環境は、他の学年が混じらないように学年別にクラス編成されています。中学生にもなると、他の学年が混じると、委縮して質問もしにくくなります。運営費用が高額なりますが、生徒の学力向上への本意の現れです。

授業は洗練されたプロの講師の講習により提供されます。一斉授業を提供する進学塾の講師は、通常、有名進学塾で数カ月(300時間以上ほど)の模擬授業研修を受け、教壇に立てると認められて一人前講師となります。正に職人です。進学塾は、講師の育成に全力を注ぎます(求人は正社員中心)。講師の授業力が商品であり塾の中身だからです(プロの講師がいない塾は中身のない塾)。飛躍的に成績が伸びる生徒も誕生し塾の評判や実績となります。(進学塾では、有力講師の引き抜きや独立が悩ましいところなのです)塾業界の人たちは、自分の子供(中学生以上)を学年混在型塾(個別指導塾)に通わせることはありません。

上記の事柄が、ようやく最近になって都市部から認識されてきました。ひと昔前までは個別指導型塾が人気がありましたが、現在は都市部を中心に一斉指導塾が選ばれています(早稲田スクール、熊本ゼミナール、熊本昂・・)。しかし、全国的に地方は少子化が激しく、学年別のクラス編成が困難なため、プロ講師を擁するの進学塾はほぼ無く、個別指導塾が繁栄しています。

将来、塾へ問い合わせをすることがある場合、学年混在か、学年別クラス編成か、確認をされてみてはどうでしょうか？

塾の選び方 担当講師

学習塾に我が子を通わせる、どの塾に通わせればよりよいのか？・・・「かけ(運)みたいなもの」と、ある保護者の方が言われてました。業界の内部に詳しくない方々にとっては、まさしくその通りでしょう。**通塾を決意して、通い始めたら我が子の「担当講師がアルバイトや未熟の講師」だったら、どう思いますか？**

本来、「学習塾の講師とは、勉強を教えるプロ」であり、社会的に、「学校の先生よりも教え方が上手」と、暗黙の認識があると思います。当然、通常、学習塾側にもプロとしてその認識は強く、更に他塾にも負けないように、精鋭講師を育成します。講師の指導力こそ学習塾の本質であり、商品だからです。その講師は数百時間単位で模擬授業や研修でたたきこまれ、一人前と認められて教壇に立つものであり、そのような学習塾講師が、社会的に業界としての信頼を確立してきました。一斉授業で教壇に立って勉学を教授することは、そのようなプロの講師(職人)の仕事なのです。

しかし、近年、そのプロの職人講師の仕事をアルバイトや未熟な講師に任せる「**儲け主義の個別指導塾**」「**なんちゃって塾**」が横行しているのが現状です。特に地方ほどその傾向が強いのです。

市内の教室では、よくお問い合わせで「担当講師はアルバイトですか」と聞かれることがあります。実に鋭い質問だと感じます。市内では保護者の認識がそこまで至っているのでしょう。地方の教室では、そのような質問をされることはありません。一般的に、アルバイト講師ではなく、正講師に我が子を見てもらいたいと思うのは全国共通だと思います。※ましてやアルバイト講師等が担当でも、授業料が安くなるわけでもありません。アルバイトが活躍できるのは、補助講師や個別指導(?)なのです。

そして、前回の「個別指導型と一斉授業型」についても述べましたが、**儲け主義の学習塾は主にアルバイト講師等が多く存在します**。そのような塾でも決して講習料は安くはありません。**我が子の担当講師がアルバイト等だったら、ガッカリしませんか？**

塾選びを間違えないように、これから学習塾へお問い合わせをする際に、「担当講師はアルバイトなのか」(最初だけ正講師の可能性有)「塾自体のアルバイトの存在」を確認してはいかがでしょうか。

※目安⇒アルバイト講師や未熟講師が主体の場合、講習中も騒がしく落ち着きのない塾になります。

塾の選び方 塾の大きさ

成績は伸びていますか？ — 近年、他塾から切り替えての通塾生が増えています

大津町や益城町の進学塾に通われている方、成績は伸びていますか？

学習塾を運営するにあたり、基本的に、大津町に存在する塾は通塾生の大半を占める大津中・大津北中の生徒が中心です。つまり、学習塾は地元の生徒を大切にします(塾は評判が命、地元の生徒の成績UPに努力します)。益城町にある塾も同様です。考えてみれば当たり前のことなのです。例えば、

大津町(益城町)にある学習塾が西原中の生徒の日程や学習内容(定期考査の日程、各科目の進度や地理や歴史などの単元の差)やテスト範囲に合わせて講習することはありえません。

また、多感な年代の生徒が、知らない中学生が騒いでいる中で、どれ程気持ちを落ち着かせて勉強に励めるのか疑問です。萎縮して質問すらできない生徒も多くなります(その塾の地元の生徒たちは、表情豊かに生き活きと勉強します)。

個別指導型塾では、大広間にテーブルを仕切って閉じ込められたような空間で、アルバイトに教わっているようです。また、家庭教師では成績が飛躍した話は聞いたことがありません。

他塾から当塾へ塾替えしてこられる生徒を見てきましたが、成績が上がらなかった理由は、上記のいずれかの可能性があります。もちろん、他にも成績が上がらない理由は考えられます。

下線部を読み返して下さい。この環境で頑張っていると思うと、「かわいそう」に思えてきます。対応できる子なら良いのですが、**勉強は伸び伸びと将来のために頑張るって欲しいものです。**

そして、外観や広告に莫大な費用をかけているため、進学塾でも個別指導塾と変わらないほどの受講料が発生しています。

のぞみスクール西原教室は創立以来、運営費用が高くなりますが、学力向上が塾の務めと考え、学年別にクラス編成をしています。そして、西原中の生徒を中心に、西原中の学習内容・テスト範囲に合わせた講習を展開しています。それは内申点に直結し入試の合否に関わる重要なことだからです。※稀に阿蘇中、南阿蘇中からの受講生がいることがあります。

中3生には受験生指導歴21年の講師による有名進学塾レベルの講習を提供し続けています。進学塾の講師とは、通常、有名進学塾で半年以上(300時間以上)模擬授業研修を積んで一人前と認められて教壇に立ちます。中2、中1生は少人数の教室で丁寧に丁寧に指導しています。

学習塾の受講料

のぞみスクールの受講料は他の進学塾に比べると、平均月額3000円~10000円以上安く設定しています。それは、広告や看板、塾舎などの見栄えにかかる経費をできるだけ減らし「講習料を安く」と考えているからです。学習塾の務めは生徒の学力向上にあります。極力、余計なものに費用をかけて講習料を上げるべきではないと考えます。夏期講習料や冬期講習料で10万円以上の塾もあります。同業ながら驚くばかりです。すでに約400年前、ある詩人は次のように嘆いています。

「外観というのは一番ひどい偽りであるかもしれない。世間というものはいつも虚飾にあざむかれる」

by シェイクスピア